

子どもの体力向上に向けた方策等について【島本町教育委員会】

中学校

(成果と課題)

男女ともに体力合計点が、大阪府・全国とほぼ同じ程度、もしくは上回る結果であった。意識調査においては「運動が好き」「体育の授業が好き」と回答した割合が、大阪府・全国を上回っている。また、部活動(運動部)の所属率も高く、部活動が生徒の体力向上の一翼を支えていると言える。このことから、多くの生徒に運動習慣が定着化されていると考えることができる。

課題として、男女とも立ち幅跳び等の瞬発的筋力系種目の強化が必要である。



運動の大切さを知り、主体的に運動に取り組もう！
～生涯にわたって運動をしようとする意欲につながる土台をつくるために～

- 「**できる喜びを感じられる授業づくり**」を展開する。
→体育の授業において、個々の生徒が「できる喜び」を感じられるように、導入時の補強運動の充実やスモールステップの授業づくりを行う。
- **生徒自身が「運動の大切さ」を理解する。**
→生徒自身が、教育活動全体を通じて、健全な心身の成長には、運動も大切であることを理解する。
- **オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高める教育活動を設定していく。**
→平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、学校の取組の中で、スポーツが持つ感動や公平性などの価値にふれる。

★上記取組以外からも、保健体育の授業改善、運動の重要性を踏まえた生活習慣改善等の取組を家庭と連携をはかって行っていく。